

バイオマス取組事例概要

関東

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農村振興局長賞)

・応募主体 社会福祉法人光明会 障害者支援施設「就職するなら明朗塾」

・都道府県・市町村 千葉県八街市

・取組分野 BDF等燃料

取組概要

障害者支援施設による地域と連携した廃食用油のBDF燃料化事業。



精製したBDF燃料(34,720㍑)は、行政機関(市クリーンセンターなど)、農業者や事業者などに販売。

障害者らが主体となって回収・精製・販売を行い、資源循環活動に取り組んだことで、新たな地域との連携・交流も誕生。

将来は「障害者による収益事業」として株式会社化し自立させていくことを検討。

知的障害者の就労支援施設として80名ほどが入所する「就職するなら明朗塾」において、就労支援の一環と社会貢献に取り組む活動として、平成16年から知的障害者による廃食用油の回収(36,550㍑/年)とBDF(バイオディーゼルフューエル)燃料化事業を実施。廃食用油は、近隣3市(八街市、山武市、富里市)の学校給食センター・スーパー、事業所などから回収するほか、地域住民と協力して「廃油回収ステーション」を設置し、一般家庭で排出される廃食用油の回収も実施。

